

2020年9月10日

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ

関西エリア初登場！

大阪駅桜橋口地下通路において、浮いているように見える立体ホログラム映像 『3D Phantom®』（スリーディー ファントム）の実証実験を開始！

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 野中 雅志)は、2020年8月21日(金)から大阪駅桜橋口地下通路に位置するサインボードNo.558のショーウィンドウ内において、株式会社 Life is Style (メーカー)と株式会社イーストパーク (映像提供) による『3D Phantom®』（スリーディー ファントム）を用いた実証実験を開始いたしました。

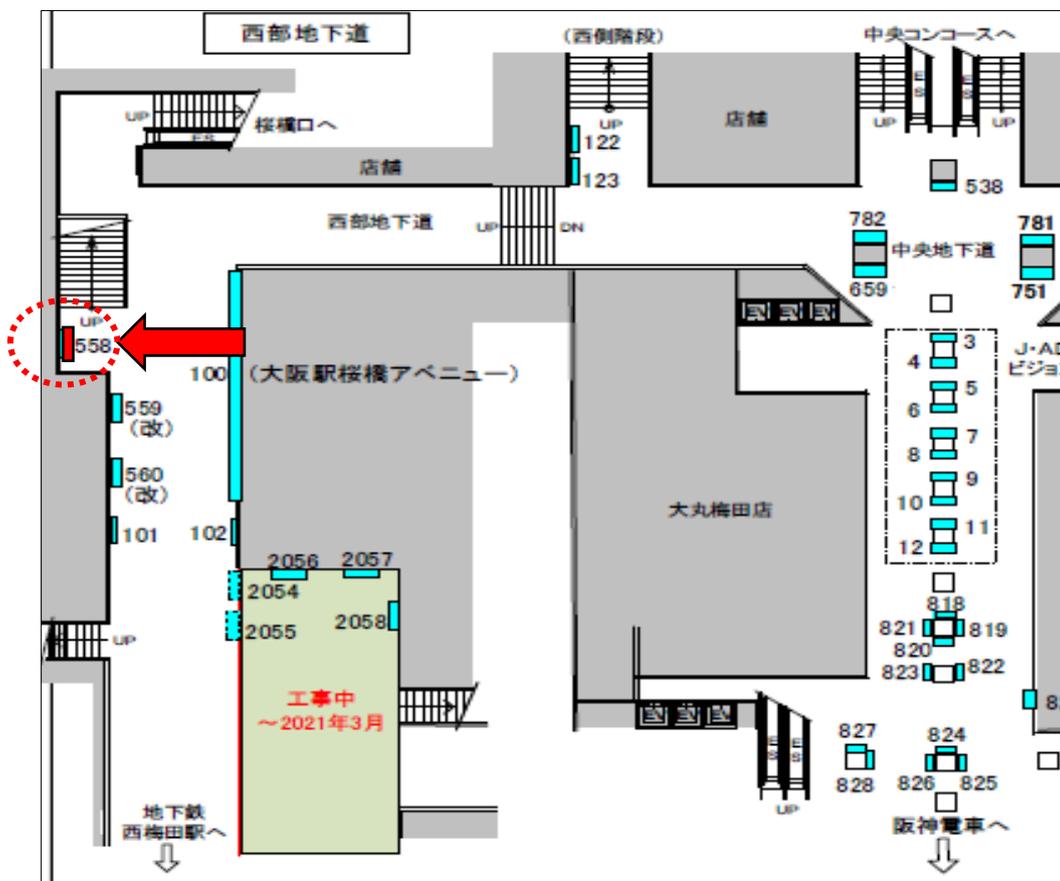


3D Phantom®とは、LED光源がライン状についたブレードを高速回転させ、光の残像によって映像を映し出すホログラムディスプレイです。VRやARの専用ヘッドセット(メガネ)は装着不要です。3D Phantom®で作られた3D映像は、浮いているような不思議な魅力で、人々の注目を集めることができます。

ビジネス客が多く、Osaka Metro 四つ橋線「西梅田」駅へのアクセス路である桜橋地下通路において、新しい技術による革新的な表現力で「新たな広告表現」と、「広告価値の創造」を表現いたします。

- ◆期間：2020年8月21日(金)～
- ◆場所：JR西日本大阪駅柵外桜橋地下通路ショーウィンドウ
(サインボード番号No.558)

◆掲出位置図



【3D Phantom® (スリーディー ファントム) について】



LED 光源がライン状についたブレード（翼）を高速回転させ、光の残像によって奥行きのある映像を映し出すホログラムディスプレイです今回の実証実験では、12 台の 3D Phantom®と 2 面のモニターを使い、新たな広告表現にチャレンジしています。

【JR 西日本コミュニケーションズについて】

J R西日本コミュニケーションズは、J R西日本グループの広告会社です。
駅や車内を起点とするコミュニケーション活動の専門家集団として、など交通広告の開発・販売のほか、
ブランドづくりから販売促進まで様々なメディアとコンテンツを組み合わせ、多彩なコミュニケーションをプロデュースしています。